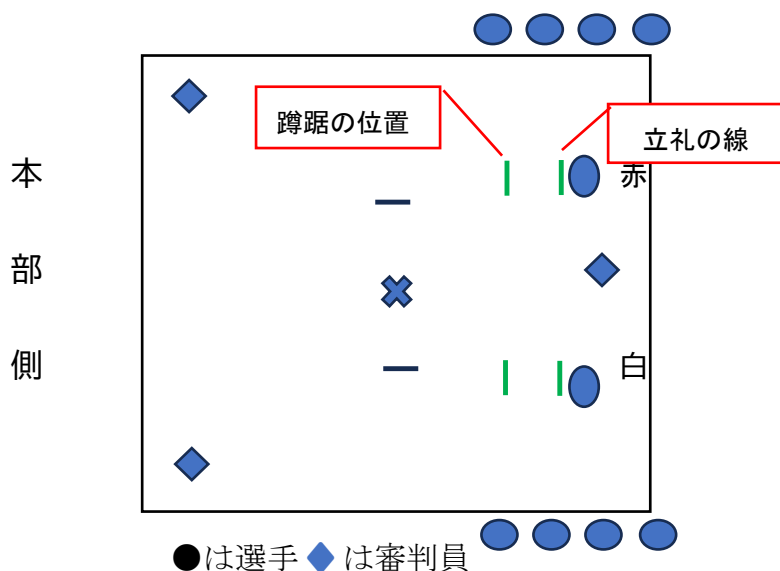


## 第2部（基本の部個人戦）試合要領 改

- 選手の服装は、剣道着と袴とする。（会場で赤白の目印を袴の前面につける）
- マスクの着用は個人の判断と致します。
- 全試合場を使って、一組ずつ団体戦の前に行う。（待機場所は図の通り）
- 防具を付けていない子（A）、防具を付けて1年未満の子（B）を分けて、基本動作の課題を行い、審判員が一斉に赤白どちらかの旗を挙げる。多数決で勝敗を決する。
- 号令は、一斉号令とし本部役員が行う。

例) 第2試合場



### 号令と選手の動き

	号 令	選手の動き
1	「気を付け。礼」	審判員の方を見て立礼をおこなう。
2	「構え刀」	立礼の位置から3歩進み蹲踞をして構える。 ※1
3	「前進後退面10本 はじめ」「やめ」	「1, 2, 3・・・10」と声を出し数える。 ※2
4	「前進面 はじめ」	「メン・メン」と発声し前に出ながら5本面を打つ。 ※2
5	「後退面 はじめ」	「メン・メン」と発声し下がりながら5本面を打つ。 ※2
6	「早素振り10本 はじめ」「やめ」	「1, 2, 3・・・10」と声を出し数える。 ※2
7	「面の打ち込み はじめ」	「ヤー」と発声し、すり足から面を打つ。2回行う。 ※3
8	「小手面の打ち込み はじめ」	「ヤー」と発声し、すり足から小手面を打つ。 ※3
9	「納め刀」「礼」	蹲踞をして納め刀をし、立ち上がって小さく5歩下がり、立礼をする。 ※1

#### 注 意

※1 構えた時に、立ち上がる指示はしないので、蹲踞して構えたらすぐ立ち上がること。

納め刀の時も同様。

※2 素振り等終わったら、中段の構えに戻って次の号令を待つこと。

※3 係員が持つ打ち込み棒を、しっかり打つこと。残心を忘れずに行うこと。

判定の後、勝者は「優秀賞」、敗者は「優良賞」の賞状を会場係から受け取って親元へ帰る。

## 審判員の動き

- ① 審判員は、開始前に上図の要領で位置取りし、審判をします。全部で4～5組しかありませんので、途中交代せず通して行ってください。但し、審判員が所属している団体の選手の場合は交代してください。
- ② 判定は、号令係の合図の後に行ってください。
- ③ 基本の試合で、「打ち込み」がありますので、赤白1名ずつ打ち込み棒または竹刀をもって場外で待機してください。  
早素振りが終わったら試合場内に入って、子どもに打たせるように立ってください。終了後は、団体戦の準備を速やかにお願いします。

## 会場系の動き

- ① デスクに賞状を用意しておきますので、基本の試合を終わった選手が来たら渡してください。赤白の目印を回収して団体戦に備えてください。